

大麦情報

No. 2

JA えちご中越 さんとう営農センター
電話番号(0258)41-2887

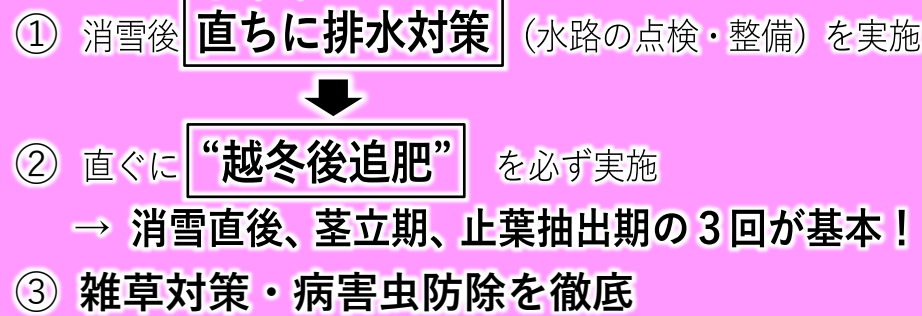
令和 8年 4月9日

越冬後の作業

令和8年産越冬後の大麦においては、すでに消雪となっている為、“排水対策”を行っていないほ場では直ちに水路の点検・整備を開始しましょう。また、排水対策後には以下の管理対策ポイントを参考として“越冬後追肥”を実施しましょう!!

▷ 今後の管理対策のポイント ◁

平均気温が4~5℃になると肥料の施肥効果が現れます。今後向こう1ヶ月の季節予報での気温は“高い”と予想されることから気温に注意して早めに追肥を実施しましょう!!



1. 排水対策

「排水対策」を徹底し、地表水の停滞による湿害を回避しましょう!

麦は気温の上昇に伴い、根の呼吸量が増加します。地表水の停滞によって根が呼吸できずに湿害（根腐れ）の原因になります。越冬後、早急に明きよや排水溝の点検を行い、地表水の排水を促すとともに、定期的な連結部分等の点検・整備により湿害防止に努めましょう!

2. 越冬後追肥

消雪後追肥は...

① 消雪直後追肥 ② 茎立期追肥 ③ 止葉抽出期追肥の3回施用が基本です!

(1) 施肥量の目安

追肥時期	10aあたり窒素成分量	10aあたりカリ成分量	品目(例)	10a使用量	成分(%)		
					N	P	K
1回目: 越冬後追肥 すぐに実施!!	3kg	3kg	硫安	15kg	21	0	0
			塩化加里 60	5kg	0	0	60
2回目: 茎立期追肥	2kg以下	-	硫安	10kg	21	0	0
3回目: 止葉抽出期追肥	1~2kg	-	硫安	10kg	21	0	0

※ 茎数過剰、葉色が濃い場合は、茎立期追肥と止葉抽出期追肥を減肥しましょう。



(2) 追肥の目安と判断基準

① 消雪直後追肥 → 越冬で消耗した麦の生育回復、穂数増加効果

- ◇ 時期: 平均気温が4~5℃以上になった頃を目安とする
- ◇ 必ずほ場の排水対策(排水口の拡張、明きよ連結部分等の点検・整備)を行ってから施肥する
- ◇ 降雨による肥料の流亡、追肥後の積雪による障害を防止するため、天気予報を必ず確認する



② 茎立期追肥 → 穂数増加効果

- ◇ 時期: 主稈長が2cm以上になった頃(茎伸び始め)
- ◇ 消雪直後追肥に一発肥料使用の場合は省略できる
- ◇ 茎数と葉色を確認し、止葉抽出期追肥が確実に施肥できるように右表を参考に施肥量を調節する
- ◇ ほ場ごとの生育を確認してから適期に追肥する

茎数	葉色 (SPAD)	窒素成分量 (kg/10a)
600本/m ²	4.2未満	2kg
未満	4.2以上	1~2kg
600本/m ²	4.2未満	1~2kg
以上	4.2以上	施用しない

③ 止葉抽出期追肥 → 1穂粒数と千粒重の増加に効果

- ◇ 時期: 全茎の40~50%の止葉が抽出した頃
- ◇ 消雪直後追肥に一発肥料使用の場合は省略できる
- ◇ 追肥時期を逃すと追肥の効果が低下するので、生育状況を把握し適期に施用する(追肥時期が遅れたり追肥量が多すぎると硝子率が高まることから、右表を参考に施肥量を調節する)

茎数	葉色 (SPAD)	窒素成分量 (kg/10a)
500本/m ²	4.5未満	2kg
未満	4.5以上	1~2kg
500本/m ²	4.5未満	1~2kg
以上	4.5以上	0~1kg

茎立期に施用せず、止葉抽出期以降に葉色低下が懸念される場合は増肥する。2kg/10a

3. 雑草対策

停滞水が無くなったら、必要に応じて生育期処理除草剤を散布しましょう。また、麦角病の伝染源となるイネ科雑草の除去や雑草との養分競合を回避するため、除草剤散布による雑草対策を徹底しましょう。

“スズメノテッポウ”に登録のある薬剤は少ないため、確実に除草を実施してください!



資材名	対象雑草名	10a使用量	希釈水量	使用時期
ハーモニーDF水和剤	1年生広葉雑草 スズメノテッポウ	5~10g	100ℓ	播種後~節間伸長前 (但し、スズメノテッポウ5葉期まで) ※スズメノテッポウには効果が劣る
リベレーターフロアブル		60~80ml	100ℓ	は種後~麦3葉期
リベレーターG		4~5kg		は種後~麦2葉期

4. 赤かび病防除

- ・基幹防除として、開花期(出穂期の4~7日後頃)とその7~10日後の2回防除を徹底しましょう。
- ・収穫前に発病状況を調査し、発生している場合は発生のないほ場とは別に収穫・乾燥・調製を徹底!

体系	資材名	10a使用量	希釈倍率	使用時期
個人防除	1回目	トップジンM水和剤 /10a	1,000~1,500倍	開花期 (収穫30日前まで)
	2回目	チルト乳剤25 /10a	1,000~2,000倍	1回目防除の7~10日後 (収穫21日前まで)

※ 農産物検査法の検査規格: 赤かび粒混入限度 0.0%

~~営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ~~